

# 平成26年度すまいるカレッジ「健康づくり講座」 報告書

講座名	旧堺市内歴史散策	回数	7/9
日時	平成26年10月21日(火) 10:20～15:30		
場所	堺旧市内北部		
講師	すまいるセンター サポーター		
参加人数	受講生 16名 サポーター 7名		

コース 市庁舎→妙国寺→本願寺堺別院→山口家住宅→水野鍛錬所→内田家住宅→昼食(堺市青少年センター)  
→梅栄堂→工場→顕本寺→市庁舎 距離:約7Km

堺市庁舎の21F展望台に、バス・電車を利用し各々集合してもらいました。1F広場で軽くストレッチをして出発です。土居川公園伝いに妙国寺、本願寺堺別院を訪れ少し歴史の深さを感じながら「水野鍛錬所」に向う。



21F展望台に集合



妙国寺は境内のみ



生憎と休館

**水野鍛錬所** 三代目を継ぐ若い刀鍛冶職人から直接話が聞けました。日本刀の伝統と共に堺の包丁も残っていくことを願います。工房は鍛冶屋的雰囲気、江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。



水野鍛錬所の三代目



内田家 高い天井と梁



梅栄堂の工場

「内田家住宅」 外見は普通の建物だが、中に入ると高い天井に太い梁と鴨居江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。この建物は作り醤油屋の町屋で、古い構造がそのままが残ったあり電気配線は碍子が使っている。二階にある珍しい大きな2間簀笥も見学させてもらった。

堺市立青少年センターで一休み、持参の弁当をいただき元気を回復し次の見学場所に向かう。

**梅栄堂** 堺の地場産業といえば線香にお香。生産、販売をしている梅栄堂の生産工場の見学です。工場内は線香のかおりで充満している、聞けばこの匂いが付近に漏れ出ないように窓は開けられないとの事。材料を練ったり、棒状の線香を押し出して乾燥の枠に乗せるまでは機械が使われているが、乾燥から製品までは全て、人の手で作られており伝統産業の香りがした。

**顕本寺**では、君が代の歌詞が書かれている屏風を鑑賞させてもらった。歌詞は隆達節の中の一編で1602年の年号が記されている。屏風絵には当時普及していない三味線が書かれており別々のもので成立しているとの説明書があった。説明をお願いしていた和尚さんが不在で見ただけになってしまった。

予定通り3時半に市庁舎へ到着。全員無事がなにより、お疲れ様でした。

**後記**

- ・受講生の多くが物造りの現場にかなり興味を持たれた様で、今回のコースはまずまずと感じた。
- ・見学先の事情によるトラブルを心配したが、顕本寺のみ説明者不在があったが想定内に収まった。
- ・受講者のトラブルが無かったのが良かった。